



この度は、「クリスティアワカサギ専用電動リール」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みいただき、製品の特徴をよく理解した上でお使いください。取扱説明書が分かりにくい場合は、発売元までお問合せください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要な時は再度ご確認ください。

グローブライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16
お客様センター (無料) TEL: 0120-506-204

MADE IN CHINA

安全上のご注意

- 本機は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店または弊社お客様センターにご相談ください。
- お使いになる人や他の人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、取扱説明書や本体ラベルに表示された内容は必ずお守りください。取扱説明書及びラベルのマークの意味は次のようになっています。

警告
取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される場合及び軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合を示します。

注意
取り扱いを誤った場合、軽傷を負う危険性が想定される場合、並びに物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

この表示は、決してしてはいけない「禁止」を示します。

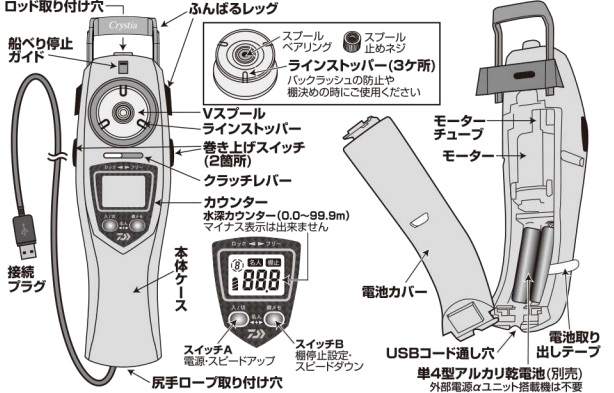
この表示は、必ず実行していただく「強制」を示します。

警告

電動リール本機について

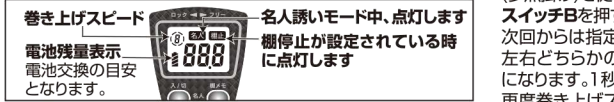
- 外部電源αユニット搭載機の電源は、推奨バッテリー以外使用しないでください。
- 本機は淡水の止水状況でのわかさぎ釣り専用リールです。河川やトロリングなど流水の中では使用しないでください。故障や事故の原因となります。分解・修理・改造などをしないでください。故障や火災・感電・けがなどの原因となります。
- スプールを外した状態でモーターを回転させないでください。モーターゴムの破損、スプール台の摩擦・発熱などから火傷・火災や故障の原因となります。
- スプールを外した状態やスプール止めネジを緩めた状態で巻き上げスイッチを押し続けしないでください。モーターや電池が発熱し、事故・火災や電池の液漏れなどの原因となります。
- 万が一、使用中に異常な音、異常な発熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。
- 電池が新しいにもかかわらず、スプールの回転が著しく低速であったり、回転しない場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。
- 本機は防水仕様ではありません。水没した場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電池・外部電源を抜き、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。放置すると感電・火災などの原因となります。
- 移動時や使用しない場合は電池または外部電源から接続プラグを外してください。誤って巻き上げスイッチを押し続けた場合モーターが発熱し、事故・火災や電池の液漏れなどの原因となります。

各部の名称



各部の動き

- 1 水深カウンター (CRTα/CRT+/CRT 対応)
 - 1.0cm単位で表示します。
 - *カウンターは目安となります。糸の巻き込み過ぎにご注意ください。
 - 船べり停止機能は3種類あります。
 - 巻き過ぎると竿を破損することがあります。ご注意ください。
 - 船べり停止ガイドにビーズなどを当てて止めると、カウンターはゼロになります。(オートリセット機構)
 - カウンターをゼロにするには船べり停止ガイドを押ししてください。



- *糸を出している際に、船べり停止ガイドを押すとカウンターがゼロになります。
 - *Eシリーズでは水深カウンターはありません。
- 2 巻き上げスピード調整 (外部電源と単4電池では電圧の違いで各種巻き上げ誘いスピードに差がでます)
 - 10段階 (Eのみ5段階)で変更可能です。
 - 初期通電時 (最低スピード) → スイッチA → スイッチB → ... → スイッチH
 - スイッチAを押すと、スピードが上がっていきます。最大スピード時 (H)に押すと、最低スピード(L)になります。また、モーター回転中にスイッチBを押すと逆にスピードが下がっていき、最低スピード時(L)に押すと最大スピード(H)になります。低速使用時は、多点掛けや他の魚など負荷が掛かると巻き上がらない時があります。その際はスピードを上げて巻き上げてください。(負荷状況などによりスピードが大きく変化しない場合があります。)
 - 3 巻き上げスイッチ
 - 左右どちらかのスイッチを押すとチョイ巻きになります。1秒以上巻き上げスイッチを押すと連続巻きになります。再度巻き上げスイッチを押すと解除します。

- 使用中、根掛りや大きな魚が掛るなどの高負荷が生じた場合、ただちに使用を中止してください。発熱などから火傷・火災の原因となります。
- 本体・電池共に、保管の際は子供や幼児の手の届かないところに保管してください。万が一電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- 電池ボックス内に水が溜まると漏電、電解腐食の原因となり機能に影響を与えます。水が入った場合は速やかに電池・外部電源を抜き取り取り取ってください。また、使用中使用後に関わらず水が入っていないかを確認してください。
- デジタルカウンターは絶対開けないでください。故障の原因になります。故障の場合は、お買い上げ店またはお客様センターにご相談ください。
- 液晶部のレンズ内部に水滴の付着や曇り、割れ、クラックが見られた場合は、使用をやめて修理に出してください。
- マグネットの周囲、上に置かないでください。モーターの誤作動、カウンターが誤表示する原因となります。
- 液晶面に力を加えると、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。
- 液晶の表面は傷付きやすいので、画面を拭くときは十分にご注意ください。

電池/外部電源について

- アルカリ電池を推奨します。
- 充電式(ニッケル水素)電池やマンガン電池を使用した場合、十分な性能を発揮できません。
- 新旧・異種電池の混用はお止めください。液漏れ・破裂・発熱・発火の原因となります。
- 電池の極性(⊕と⊖)を逆に入れてください。
- 火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショートをしないでください。
- 電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害を発生する恐れがあります。

標準装備	CRTα	CRT+	CRT	E
水深カウンター	●	●	●	—
ふんばるレック	●	●	—	—
外部電源αユニット	●	—	—	—

*カウンターはあくまでも目安となります。穂先の巻き込みなどの破損に関しては一切責任を負いませんので、船べり停止機構を有効にお使いください。

*巻き上げボタンを使用時のクラッチON動作は電池残量が少なくなると、作動しなくなります。その際は、新しい電池に交換してお使いください。

*電源オートOFF機能
電源ONの状態でも、1時間カウンター・モーターの動きが無いと自動的に電源OFFとなります。(その際は水深カウンターもリセットされますのでご注意ください)

*モーターリミッターについて
スプールの回転が止まっているのに、モーターを動かそうとすると1秒後にモーターが停止します。スプールを回転させると復帰します。

*糸の摩擦により静電気が発生し、極稀に電子回路に影響が出る場合があります。その際は、一度電源を切り、再度設定し直してください。

*外部電源αユニットはMRシリーズ/SRシリーズ/CRシリーズ/CR-PTシリーズでは使用できません。

- 4 棚停止設定方法 (CRTα/CRT+/CRT 対応)
 - 止めた棚まで糸を出し、スイッチB(棚メモスイッチ)を押すだけで設定完了です。棚停止がONになるとLEDが点灯します。棚停止をOFFにするには棚メモスイッチを押してください。LEDが消灯します。
 - *水深カウンター1.0m以上から作動します。仕掛けの重さ等により、停止位置が上下にズれる場合があります。

- 5 追い食い巻き上げ (CRTα/CRT+ 対応)
 - 左右の巻き上げスイッチを同時押しすると、スロースピードで巻き上げることで他のハリに追い食い(多点掛け)を促す。「追い食い巻き上げ」になります。巻き上げ中にスイッチAを押すと、スピードアップ。
 - スイッチBを押すとスピードダウンします。(10段階変速、初期設定3)。次回からは指定したスピードで追い食い巻き上げを行います。再度左右どちらかの巻き上げスイッチを押すと追い食い巻き上げ解除になります。1秒以上巻き上げスイッチを押すと連続巻きになります。再度巻き上げスイッチを押すと解除します。追い食い巻き上げは、スピード・負荷などにより一定スピードで巻き上げない場合があります。

- 6 名人誘い (CRTα/CRT+ 対応)
 - ① 誘いを開始したい水深(棚)まで仕掛けを落とし、クラッチをロックしてください。
 - ② スイッチA、スイッチBを同時押しすると、押した水深(棚)を起点に名人誘いモードに入り、誘いが繰り返されます。(名人誘いモード中は図のようにLED表示が点灯します。) また名人誘い中にスイッチAを押すとスピードアップ、スイッチBを押すとスピードダウンします。(10段階変速、初期設定3)
 - ③ 誘いを止めた時や自動巻きしたい時は巻き上げスイッチを押してください。巻き上げスイッチを1秒以上押し続けると自動巻きになります。巻き上げスイッチ左右同時押しすると、追い食い巻き上げになります。
 - ④ 名人誘いを停止して再度作動させたい時は、名人誘いがスタートした水深(棚)より50cm程度巻き上げ、クラッチOFFして元の水深(棚)に戻れば、名人誘いが再スタートします。
 - ⑤ スイッチA、スイッチBを再度同時に押しと名人誘いモードが解除になります。名人誘いの誘い棚を変えたい時は一度名人誘いを解除して、誘い棚の位置を変更して仕掛けが到達すると、自動棚停止して、名人誘いが再開されます。
 - *名人誘いは湖底の起伏、湖流により水深が変わると上手く作動しない場合があります。糸の出方を考慮して、名人誘いスタート水深(棚)を決めてください。名人誘いは水深1.0m以上で作動します。
 - *誘いスピード(特に①~⑤の低速巻き上げ時)や電池残量、オモリ負荷などでスプール回転や誘いスピードが不規則な動きをしたり、誘い幅、誘い上下幅に誤差がでます。スレが大きくなった場合、再設定を行ってください。
 - *使用しない時は名人誘いモードを解除してください。名人誘いモード中に電源を切ると、再度電源をONにした時、名人誘いモードからのスタートとなります。

注意

電動リール本機について

- 釣り以外の目的に使用しないでください。
- 子供または幼児の手の届かないところに保管してください。
- 接続プラグを抜く際にコードを引っばったり、電源コードをリール本体にぐるぐる巻き付けたりすると、断線の原因になりますので絶対にやめてください。
- 接続プラグは間違った方向で差し込みますと故障の原因になります。
- 濡れない場所、濡れない状態でご使用ください。
- 屋外では使用しないでください。
- 使用中に糸やスプールに触れないでください。けがや破損などの恐れがあります。
- ふんばるレックを押ししたり、引っ張ったりすると本体から外れるなどの原因になります。絶対にやめください。
- クラッチレバーを強い力で押し付けしないでください。機能障害や割れてけがをする恐れがあります。
- 本スプールはMR/SR/CR/CR-PTシリーズに取り付けてのご使用はできません。
- Eシリーズのスプールはその他の機種で使用できません。
- 火気やストーブのそばなど、高温になる場所で保管・使用はしないでください。変形や故障などの原因になります。

お手入れの方法

- 巻き糸やリール本体には、潤滑剤やコーティング剤を使用しないでください。作動不良・樹脂の破損などの原因になります。
- 各部分に付着したゴミ・砂・水分などは真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取り、スプール・電池蓋を外して電池を取り出し、十分乾燥させてください。シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤は絶対使用しないでください。変形や故障などの原因になります。
- スプールベアリングの注油は極少量にしてください。スプールシールに油がかかると回転不良の原因となります。スプールシールに油が付着した場合、きれいに拭き取ってから交換してください。

操作方法

- 1 電池仕様機種の電池の入れ方
 - 電池カバーを図1の様に開けてください。(無理に力を加えると破損する恐れがあります。)
 - ⊕と⊖を間違えないように入れてください。(図2)
 - 図3の様に電池取り出しテープがはみ出さないように電池カバーを開けてください。
 - *寒い環境下で使用される際は電池の性能が発揮できないことがあります。
- 2 電源の入れ方・切り方
 - スイッチAを2秒以上押すと電源が入ります。
 - 電源を切る際も、スイッチAを2秒以上押してください。(電源ONの状態でも1時間放置しますと、電源が自動的に切れます。)
 - *Eシリーズは電源ON時に電源ランプが点灯します。

- 3 道糸の巻き方
 - スプールに糸を結び、スイッチAを押し電源を入れてください。
 - 船べり停止ガイドに通さず、巻き上げスイッチを押し均等になるように巻いてください。
 - 道糸にはPEラインをご使用ください。
 - 魚が掛かったり、仕掛けを回収する際は左右どちらかの巻き上げスイッチを押ししてください。1秒以上押すと、連続巻きとなり、指をはなしても仕掛けを回収することが出来ます。

- 4 ラインの設定
 - 出荷時にPEO.2号・30mは入力済みです。
 - その他の号数・長さの場合、本取扱説明書裏面「機能設定クイックマニュアル」④ライン設定を参照し、設定してください。
- 5 ロッド(穂先)の取り付け方
 - リールのロッド(穂先)取り付け穴は、Φ5mmとなっています。
 - ロッド取り付け穴に奥まで差し込み、しっかり固定されていることを確認してください。(振動で緩むことがありますので、使用中は時々ご確認ください。)*※差し込むと抜けなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

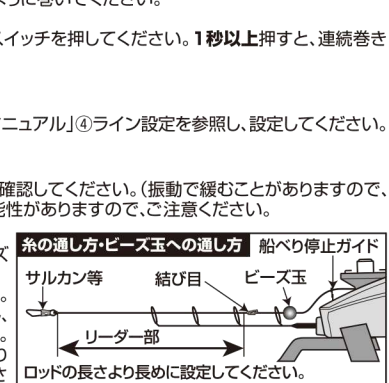
- 6 巻き直し方・ビーズ玉への通し方
 - 糸の巻き過ぎによるロッドの破損を防ぐために、右図を参考にビーズ玉を糸に通ってください。
 - ① スプールより道糸を引き出し、船べり停止ガイドに通してください。
 - ② 次に船べり停止玉をさせるためのビーズ玉(直径約2~3mm)を通し、ビーズ玉の手にビーズ玉が通らない結び目を作ってください。巻き上げ時、結び目がガイドを引き上げ船べり停止ガイドに当たりモーターの回転が止まります。結び目から、サルカンなどまでの長さをロッドの長さより少し長めにセレクトすると巻き込み防止となります。
 - ビーズ玉は、ロッドのガイドをスムーズに通る物を使用してください。

- 7 糸の出し方・止め方
 - クラッチレバーを右側に倒してください。スプールフリー状態になり、仕掛けを落下させることができます。
 - 棚に到着したら、クラッチレバーを左側に倒すか、巻き上げスイッチを押すとスプールがロックされます。(巻き上げスイッチは、電池残量が少ないと動作しません。)
- 8 ラインストッパーの使い方
 - スプールに3箇所付いているラインストッパーに糸を引っ掛けると、毎回同じ棚で停止させることができます。(外れやすい時は二重に引っ掛けてください。)*オモリが重い(目安7.5g以上)、穂先が長いなどスプールに負荷が大きい場合にはリールの構造上、強い誘いや合わせで糸がスプールから出てしまう場合があります。その際は糸止めを使用するか、スプールをサミングしながら誘いや合わせを行ってください。
- 9 電源OFFにした時のデータ保存
 - 一度電源を切っても水深カウンター以外は電源を切られる前までの設定条件はメモリーされており、再設定の必要はありません。

- 直射日光・高温・多湿の状態では保管されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。下記お手入れを実施後、風通しの良い場所に保管してください。
- 使用頻度にかかわらず経年劣化により、故障・機能低下・変色・コードの断線など起きることがありますのでご了承ください。
- 落下などの衝撃を与えないでください。破損、内部電子部品の損傷、故障を起こす恐れがあります。
- 尻手ロープ取り付け穴に尻手ロープを取り付けた場合でも、強い衝撃で外れる場合があります。お取扱いには十分ご注意ください。
- 船べり停止ガイドに強い衝撃を加えないでください。曲がる恐れがあります。また、使用状態によりガイドに糸溝が発生することがありますのでご了承ください。
- 糸がスプールの下に挟まった場合は、無理に引っばらず、電源をOFFにしてスプール止めネジを緩めスプールを外してから糸を取り出してください。
- メンテナンス後にドライバーや発熱器具を使つての乾燥はおやめください。樹脂が変形する恐れがあります。
- 出荷時には、カウンターとスプール銘板は保護シートが貼ってあります。ご使用の際ははがしてお使いください。
- オモリが重い(目安7.5g以上)、穂先が長いなどスプールに負荷が大きい場合にはリールの構造上、強い誘いや合わせで糸がスプールから出てしまう場合があります。その際は糸止めを使用するか、スプールをサミングしながら誘いや合わせを行ってください。

電池/外部電源について

- 釣行後は、必ず本体から電池・外部電源を取り出して保管してください。使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの原因となります。
- 電池を保管・捨てる場合は、接点部分にテープを貼るなどの絶縁を行ってください。



*図のビーズ玉・結び目・サルカン等は本製品には付属しておりません。

【機能設定クイックマニュアル】ここでは、各種機能設定について、図解にて説明します。

機能設定モード (CRTα/CRT+/CRT 対応)

水深画面から、**スイッチB**を2秒以上押しすと機能設定モードに入ります。

機能設定モードでは

①「名人誘い」CRTα/CRT+のみ
 ②「水深カウンター補正」
 ③「選べる船べり停止」
 ④「ライン設定」
 ⑤「アラーム」CRTα/CRT+のみ

の順番で操作・設定が行えます。
 ※いずれの画面も、**スイッチB**を押して次の画面に進めれば完了。最後に水深画面に戻ります。

CRTα/CRT+/CRT シリーズ初期設定値

- 巻き上げスピード…5
- 名人誘い…P2 (速度3)
- 選べる船べり停止…2 (減速スイッチ停止)
- ライン設定…PE0.2号-30m
- アラーム…オン(ON)

E シリーズ初期設定値

- 巻き上げスピード…L (LOW)

① もっと選べる名人誘いのパターン設定方法 (CRTα/CRT+ 対応)

① 水深画面から**スイッチB**を2秒以上押し。カウンター左側に①の文字、右側に現在選択されている名人誘いパターンの番号が表示されます。左図は初期設定の「パターンP2(速度3)」が選択されている例です。

② **スイッチA**を押すと、以下の5通りの名人誘いからお好みのパターンを数字で選べます。

③ **スイッチB**を押すと設定完了です。

P1 パターン1
 10cm上げて10cm下げて3秒止め×5回繰り返し
 30cm上げて30cm下げて3秒止めるを繰り返す

P2 パターン2
 10cm×3回、合計30cm上げて30cm下げて、3秒止め×5回繰り返し
 60cm上げて60cm下げて3秒止めるを繰り返す

P3 パターン3
 10cm×5回、合計50cm上げて50cm下げて、3秒止め×5回繰り返し
 90cm上げて90cm下げて3秒止めるを繰り返す

P4 パターン4
 約5cm上下3回→3秒止め×5回繰り返し
 30cm上げて30cm下げて3秒止めるを繰り返す

P5 パターン5
 10cm上げて2秒止め×10回、合計100cm上げて100cm下げて3秒止めるを繰り返す

名人誘いの「待ち秒」の変更

名人誘い後の待ち秒を1~10秒まで任意に設定できるのでさらに誘いパターンが広がりました。

設定方法
 名人誘い選択画面から**スイッチB**を2秒以上押し。
スイッチAで1~10秒の1秒単位で「待ち秒」を選べます。(左図は初期設定の「待ち秒」3秒が選択されている例です。)

「待ち秒」を設定後、**スイッチB**を2秒以上押しすと水深画面に戻り、設定完了です。

使用例 **P2** 待ち秒を5秒にした場合
 ・食いの渋い時に有効

使用例 **P3** 待ち秒を1秒にした場合
 ・高活性時に有効

② 水深カウンター補正の設定方法 (CRTα/CRT+/CRT 対応)

手持ちの魚探の水深表示とリールの水深カウンター表示を一致させることで、より精度の高い棚取りが可能です。

(例)リールの水深カウンター「10.0」を魚探の水深表示「10.8」に補正する

① CRTα/CRT+/CRTの機種は水深画面から**スイッチB**を2秒以上押し、さらに**スイッチB**を1回、CRTの機種は水深画面から**スイッチB**を2秒以上押しと水深カウンター補正画面になります。

② **スイッチA**または**左右の巻き上げスイッチ**で補正したい数字に水深カウンターを変更します。

③ **スイッチB**を2秒以上押しと水深画面に戻り、設定完了です。

*補正を行い、水深カウンターの誤差が大きくなった場合、再度「ライン設定」をやり直してください。
 *巻き上げの負荷や糸巻き状態の変化で魚探の水深表示と水深カウンターがズル場合があります。ズレが大きくなったら再度設定や数値の微調整を行ってください。

③ 選べる船べり停止の設定方法 (CRTα/CRT+/CRT 対応)

① 水深画面から**スイッチB**を2秒以上押し。
 ② CRTα/CRT+の機種は**スイッチB**を2回押し(CRTの機種は1回押し)と、カウンター左側にCRTα/CRT+は③ CRTは②、右側に現在選択されている船べり停止の番号が表示されます。(左図は初期設定の「2=減速スイッチ停止」が選択されている例です。)

③ **スイッチA**を押すと、以下の3通りの船べり停止からお好みの方法を数字で選べます。(スイッチAを押すたびに以下の3つの画面が切り替わります。)

④ 選みたい番号が表示されている状態で、**スイッチB**を押すと、設定完了です。(3を選んだ場合、下記「自動停止させる位置の選択」をご参照ください。)

①=スイッチ停止 ②=減速スイッチ停止 ③=減速カウンター停止

選べる船べり停止の詳細とご注意

*船べり停止は巻き上げスピード・負荷で前後にズれる場合があります。

①=スイッチ停止
 ビーズ玉と船べり停止ガイドを使用して巻き上げを停止させる方法です。表面・操作方法6のようにセットすれば、巻き上げ時に結び目がビーズを引き上げ船べり停止ガイドに当たり、船べり停止スイッチが作動してモーター回転が止まります。スピードが減速しない分、より早く回収できますが、停止した際の衝撃が大きくなり①以上の高速巻き上げ時はバラシやラインブレイクなどにつながる場合がありますのでご注意ください。

②=減速スイッチ停止
 巻き上げを停止させる仕組みは「スイッチ停止」と同様ですが、このモードでは停止する1m手前から巻き上げスピードが自動的に減速し、停止した際の衝撃が小さくなり、バラシを軽減する効果があります。

③=減速カウンター停止
 水深カウンター表示 0.0m ~ 2.0mの間で、お好みの位置で巻き上げを自動的に停止させる機能です。また、設定した巻き上げ停止位置の1m手前から巻き上げスピードが減速します。
 ※ただし、カウンター表示がズれるなどして、自動停止するよりも先にビーズ玉が船べり停止スイッチに当たった場合はそこで巻き上げが停止します。

「自動停止させる位置の選択画面」

スイッチBを2秒以上押しと停止位置の選択画面になります。

スイッチAを押して、0.1m単位で0.0m~2.0mからお好みの停止位置を選びます。(図は初期設定の0.5mが選択されている例です。)

お好みの停止位置が表示された状態で、**スイッチB**を2秒以上押しと水深画面に戻り、設定完了です。

④ ライン設定の操作方法 (CRTα/CRT+/CRT 対応)

① 水深画面から**スイッチB**を2秒以上押しとCRTα/CRT+の機種は**スイッチB**を3回、CRTの機種は**スイッチB**を2回押し。カウンター左側に④ (CRTは③)の文字、右側にPEラインの号数が表示されます。(左図020は初期設定のPEライン0.2号が選択されている例です。)

② **スイッチA**を押してPEラインの号数を選びます。(号数が無い場合は近い数字を選んでください。)

③ **スイッチB**を2秒以上押しと、PEラインの長さを**スイッチA**または**巻き上げスイッチ**で設定します(5~99.9mまで)。左スイッチで数字が増え、右スイッチで数字が減ります。(左図は初期設定の30mが選択されている例です。)

④ **スイッチB**を2秒以上押しと水面画面に戻り、設定完了。

*水深カウンターは目安です。
 *糸が切れた場合も同様の操作で巻き糸量の修正を行ってください。
 *初期設定はPE0.2号-30mです。
 *ラインの太さはメーカーによって違い、誤差が生じる場合があります。

⑤ アラーム設定方法 (CRTα/CRT+ 対応)

① 水深画面から、**スイッチB**を2秒以上押しと機能設定モードに入ります。

② さらに**スイッチB**を4回押しと、アラーム設定画面になります。カウンター左側に⑤の文字が表示され、右側に文字が表示されます。**ON**はアラームON、**OFF**はアラームOFFになります。
 ※初期設定はアラームONです。

③ **スイッチA**を押して、ONかOFFを選んでください。(左図はOFFを選んだ場合の例です。)

④ お好みのモードを選んだ状態で、**スイッチB**を2秒以上押しと水深画面に戻り、設定完了です。

クリスティアワカサギ外部電源αユニットの取り付け方法

① リール本体の電池カバーを開く。
 ② 上方向に引いて外す。

③ 外部電源αユニットは電池装着部の前から差し込む。その際、コードはリールカバーに挟まないように通し穴から出す。
 ④ リール本体の電池カバーを閉じる。

⑤ 推奨バッテリー(別売)に接続プラグを差し込む。
 推奨バッテリー：クリスティアワカサギ外部電源ボックス

※あらかじめ、リール本体から乾電池を取り外してください。

※あらかじめ、リール本体にコードをぐるぐる巻き付けることは、おやめください。断線などの原因になります。

※プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

※使用する電源は、推奨バッテリー以外使用しないでください。
 ※乾電池はリールに入れないでください。
 ※バッテリーは必ず防水対策を行ってからご使用ください。水に濡れると発熱や故障の恐れがあります。
 ※リールの使用方法などについては、リールに付属する取扱説明書をご確認ください。

推奨バッテリー(別売) クリスティアワカサギ外部電源ボックス

クリスティアワカサギ外部電源ボックス

モーターチューブ/スプールシール(別売)の交換方法

モーターチューブやスプールシールは消耗品であり、長期間のご使用により回転音やスプールのスリップなど性能が低下する可能性があります。

モーターチューブの交換
 ① モーター上部を左図の様に指で引っ掛けて、モーターを傾けます。
 ② チューブを引き抜きます。
 ③ 新しいチューブを真っ直ぐ差し込んでください。
 ※歪んだまま差し込みますと異音の原因になります。
 ※モーターを立ち上げすぎると、押さえバネが外れることがありますのでご注意ください。

スプールシールの交換
 ① スプールシールを剥がします。その際、スプールに付着しているノリやゴミなどキレイに取り除いてください。
 ② 新しいスプールシールを貼って完了です。
 ※気泡など入ってしまうと異音の原因になります。

※リールの油や指の油がモーターチューブやスプールシールに付着しないようにしてください。もし付着したらしっかり拭き取ってください。
 ※交換しても異音やスリップする場合弊社アフターサービス部門に出されることをお勧めします。(有償)

ふんばるレッグのセッティング方法 (CRTα/CRT+のみ)

ふんばるレッグの金属製の支えは前後に移動することができます。リールの前方に移動させて安定する位置でご使用ください。ご使用後は後方に移動すると出っ張りがなくなり携帯しやすくなります。

オーバーホール

本リールを末長くお使いいただくためにも、年に一度は弊社アフターサービス部門にオーバーホールに出されることをお勧めします。(有償)